

## Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年3月31日公開

イスラエルのガリラヤよりこんばんは。アミール・ツアルファティです。今日は、3月31日土曜日（書記注：日本時間2018年4月1日午前3時よりライブ）です。明日は復活祭の日曜日、イースターと呼ぶ人もいますが、ともかく、明日はライブで教えます。これはエイプリル・フールではありません。明日、本当に行きます。ということで、現在ガザで起こっている事について、また、ガザでの出来事に対する国際社会の反応について数分お話して、それからシリアで起こっている事をお伝えして、その他の事もお話します。

その前に、私が来週からトルコとギリシャへ行って、新しいプロジェクト「Bible Land Unveiled」を収録すると知って、たくさんの方からメールが届きました。また、何人かの方からは、私が今トルコへ行くことを非常に心配している、とメールをいただきました。実際、幻や夢を見た方たちもいて、それを私に伝えてくれました。基本的には、「行くな」という警告です。私は恐れていません。通常は、誰かが危険だと言ったからと、こんな風に中止にすることはしません。しかしながら、トルコにいる私たちの片割れのプロデューサーからメールが届きました。

「来ない方が良い。」

もしくは、トルコへ行くなら、基本的には、私のすべてのユーチューブの内容を消さなければならない、といっています。なぜなら、私が「エルドアンを批判しているから」です。私は誰のことも批判したつもりはありませんし、ただ、起こっていることを報告しただけですが、実際、トルコは今、非常に悪い場所です。恐らく、状況はかなり悪化していると思います。町中の恐れや恐怖に関して、以前はこんなことはありませんでしたから。そのメールを受け取ったときに、あちらでは、私の安全も自由も保証されていない事に気づいて、計画を変更することにしました。ですから、私はローマに飛んで、ローマで二回聖書を教えます。一つはコロシアムの隣、もう一つはバチカンの隣です。神が、二つのメッセージを授けてくださったのですが、——面白い事に、一つはローマ書から——というよりも、両方、ローマ書からです。しかし一つは、完全にイスラエルに関する事「初めにユダヤ人」です。タイトルは「ローマに入れば、ユダヤ人を先にせよ」。面白い事に、私は主に尋ねました。

「どうして、『初めにユダヤ人』のメッセージを教えるために、私をはるばるローマまで行かせるのですか？」すると、主は

「パウロが行った先ではどこでも、それがローマでさえも、彼はまずユダヤ人の所へ行き、彼の義務をしっかりと果たして、彼らに伝えたのだ。」

と言われました。パウロは、完全に鎖で繋がれていた時でさえ——恐らく、彼の死の数日前、もしくは、一週間前だったと思いますが——パウロは、ユダヤ人全員を、ローマの彼のアパートに招集して、とても興味深い…これを演説と言って良いのか分かりませんが、ともかく、使徒の働き28章には、こうあります。

- 17 三日の後、パウロはユダヤ人のおもだった人たちを呼び集め、彼らが集まったときに、こう言った。「兄弟たち。私は、私の国民に対しても、先祖の慣習に対しても、何一つそむくことはしていないのに、エルサレムで囚人としてローマ人の手に渡されました。
- 18 ローマ人は私を取り調べましたが、私を死刑にする理由が何もなかったのです。私を釈放しようと思ったのです。

- 19 ところが、ユダヤ人たちが反対したため、私はやむなくカイザルに上訴しました。それは、私の同胞を訴えようとしたのではありません。
- 20 このようなわけで、私は、あなたがたに会ってお話しようと思い、お招きしました。私はイスラエルの望みのためにこの鎖につながれているのです。」

(使徒 28:17~20)

ワーオ。想像できますか？ウルトラオーソドックス（超正統派）・ユダヤ人のパウロが、ローマにいて、ユダヤ人を集めて伝えているのです。

「私は一切、あなたがたに敵対していません。私たちの国が、盲目になっていることは、よく理解しています。それから、彼らの盲目さは、神から与えられた事だということも理解しています。彼らが心を頑なにしたからです。ただ、言っておきますが、私が鎖につながれているのは、イスラエルの望みのためです。彼が、イスラエルの望みです。そして、私がメッセージをする時は、いつもいつもユダヤ人が初めです。私たちはローマの中でさえ、それを検討するのです。」

それから、ローマでのもう一つのメッセージは

「兄弟よ。これは宗教ではありません。」

バチカンを背景にお伝えします。ということで、ローマ、アテネ、コリント、テサロニケでメッセージします。とても楽しみです。世界中の多くのクリスチャンたちが、イスラエルも、これらの聖書の地も訪れることが出来ないのを、私は知っています。ですから、私はイスラエルを、その方々に届けたいのです。それと、聖書の地を彼らに届けたいのです。文脈と出来事、それから歴史や地理を、その他全ての事から、彼らが神の御言葉を理解できるようにしたいのです。ですから、これらのメッセージの収録も楽しみですし、このDVDの発売と、メッセージをインターネットで発表するのも、とても楽しみです。どうぞ、私たちのために祈りください。来週の金曜日（2018年4月6日）、ローマへ出発します。主がこの旅を祝福してくださるように、どうか祈りください。私たちのうちに良い働きを始められた方は、それを完成させてくださることを私は強く信じています（ピリピ1:6参照）。ですから、私はトルコには行きません。ということで、始めましょう。

ほんの数分前に、エルドアン大統領が

「イスラエルは、パレスチナ人たちに対して“戦争犯罪”を犯した。」

と述べました。では、起こった事を説明します。パレスチナは、ほぼ全ての範囲で失敗しています。国際社会は、彼らの側ではなく、国連は新しい当局のため、もはや自動的に非難することはありません。スンニ派アラブ界も、もはや彼らの味方ではありません。ハマスとファタハとの和解さえ、もはや存在しません。一般のイスラエル人も、もはや彼らを信じません。私たちは、もう彼らを信頼していません。もう、大敗北です。そこで彼らは何をしたかという、彼らは、世界と、彼ら自身の注目を集めるため、何千もの人々を、イスラエルとガザの国境に送り込んで、滅茶苦茶にしたのです。念頭に置いておいてください。イスラエルは2004年にガザから撤退しているのです。それから皆さん、理解しておいてください。私たちは、一方的にそれを行なったのです。そして、国際境界線まで戻りました。つまりガザは、もはや入植地ではないのです。ガザは、ハマスというテロ組織に乗っ取られて以来、あちらからはおびただしい数のロケットが発射されています。イスラエルは、私たちの側からは、完全にガザを封鎖しています。私たちは、

「あなたがたがエジプトと繋がりたいなら、それで構わない。しかし私たちは、あなたがたがこれらの爆弾や爆破物を持って、自由にイスラエルを出入りすることを許さない。それはもはや問題外だ。食べ物や薬、その

他、ガザ地区で何か必要な物なら、我々は確実に認める。しかし、テロ組織が占領しているときに、我々は何もないかのように、ガザとイスラエルの国境を開くようなことは、決してしない。」

それから、次のことも理解しておいてください。ガザ住民のほとんどは、

「ハマスは、これまでいた中で、最低の悪夢」

だと理解しています。この10年間、ハマスがガザを支配していますが、それによってガザは、史上最悪の状態に陥りました。それから、覚えておいてください。彼らは、何百万人という人々の行進を約束しましたが、姿を見せたのは、かろうじて2万人です。それから、我々イスラエル諜報は、彼らがフェンスからイスラエルに侵略するために、この何千人という大群衆を利用し、平和的デモの名の下テロリストを送り込むことを、正確に把握していました。彼らがテロリストを送り込む計画を企てていることを、私たちは知っていました。そして彼らを行いました。実際、もしイスラエルが誰かを殺すなら、我々は、武装した者を殺します。ですから、私たちは、テロリストを殺しました。爆弾を設置しようとした者、それから、銃を持って侵入しようとした者を殺しました。これは平和的ではありませんでした。市民のものでもありませんでした。全てが予想どおりでしたが、言うておきます。死亡者数16人なんて、実際に起こり得たことを考えると、全く比べものになりません。それから、皆さんに言うておきますが、16人の人たちは、シリアの罪のない人たちは、女性や子どもたちが、毎時間死んでいるのに、誰も彼らの事は気にも留めません。国連安保理事会を召集する者は、誰もいません。誰も何も行きません。ところが、16人のパレスチナ人たちは。彼らのほとんどは武装して、イスラエルに侵略しようとしたのです。しかしそれは戦争犯罪で、これは捜査しなければならず、国連安保理事会が召集されるのです。国連事務総長は

「彼らがどのように死んだのか、民間捜査を行なおう。」

と述べました。簡単ですよ。彼らが死んだのは、彼らが武器を持って、国境を乗り越えようとしたからです。そんなもの、頭脳明晰でなくても分かります。我々が、全ての証拠を提供しますよ。我々のところには、動画や写真があるのです。我々は、彼らが持っていた武器や、手榴弾も発見していますよ。冗談じゃありません。世界は、国連安保理で、国境を守ろうとしたイスラエルを非難している時間がありながら、シリアで虐殺されている人たちに対しては何も言わない。これまた、国連の偽善です。皆さん、言うておきますが、彼らは昨日試みたことを、4月17日にまた行きます。しかし、彼らの標的は5月14日。この日は、太陽暦で言えば、イスラエルの70周年記念です。そして、トランプ政権が、大使館のエルサレム移転を予定している日です。その日に、彼らは、国境付近で大規模なデモをしようとしているのです。イスラエルは、準備は出来ています。彼らは、我々が何もしないと思っていました。彼らは、我々が自分たちの領域に侵略されるのを、ただ見ていたのです。彼らは間違いでした。彼らはまた間違いですよ。彼らは、あらゆる範囲で間違っています。ただ、興味深いのは、トルコ大統領があらゆる機会を利用して、我々に対して、さらに戦いを仕掛けようとしています。とても残念なことです。今や、誰もが真実を知っていますから。今や、どこにでもカメラがあって、誰でもライブ配信が出来るのです。市民の一人一人がフェイスブックにアカウントを持っていて、どこにいてもレポーターになれるのです。とても簡単な事です。この24時間の間に殺された人のほとんどがハマスの実行員で、彼らは武装していました。銃を持って、イスラエルに侵略しようとするなら、我々はあなたがたには扉を開けませんよ。我々は「下がれ」と言いますが、無理やり入ろうとするなら、我々は殺さざるを得ません。世界中の国々に言うておきますが、もし皆さんがテロリストに、自分たちの領域に入って来るなら殺す、と伝えられないなら、彼らはやって来て、皆さんの国に侵略し、彼らの好き放題をしますよ。ヨーロッパは、自分たちの領域への侵入を許しました。そしてヨーロッパは、そのツケを払っています。フランス、ベルギー、ドイツ

はツケを払っているのです。皆さんの知らないところで、非常にたくさんの事が起こっています。しかし良い事は、——クウェートの新聞に載っていたのですが、ここで明確にしておきますと、クウェートは物凄い反ユダヤ主義国家、激しい反イスラエル国家です。実際、現在ガザで起こっていることを話すために、国連安保理事会を召集したのは、クウェートですから、——ともかく、そのクウェートの新聞が数日前に「イスラエルのF-35が、イランの領空を飛行している。」

と報道しています。そこで、その情報をリークしたのは、誰なんだろう？と私は思ったのです。皆さんは、私の口からは、それは一切聞いていないと思います。私は知っていました。そして、私の周りのイスラエル司令官や、イスラエル空軍飛行大隊司令官、幹部の話から、私が皆さんに言えるのは、トランプ大統領が選ばれて以来、イスラエルは安全のために必要な事は、何でも行う自由を享受しています。過去8年間は、全くそれがありませんでした。皆さんにもお伝えできれば、どれほど良いかと思うようなことです。私は、イスラエルに責任がありますので、兵士や国民を危険に晒すようなことは、インターネット上では言いませんが、一つ言えるのは、クウェートの新聞にリークされた情報は、大部分において、アラブの情報社会から出たようです。私は、これを最も危惧するのです。イスラエルは、我々が彼らの核協議を潰そうとしていることを、イランが知っても構いません。我々はそう言っていますし。事実イスラエルは、2007年にシリアの砂漠に建てられていた、北朝鮮の核原子炉を破壊したことを、自分から宣言し始めました。我々はそれを実行し、認めました。そして、我々はそれを認めると同時に、

「我々は、我々周辺の敵が核を保有することは、絶対に許さない」

と言いました。ですから、イスラエルが何も言わない事に、私は驚きませんし、私たちは、F-35がイランの領空を飛行しているという事実を、否定すらしませんでした。F-35について、一つ言っておきますと、我々はこれらをアメリカから購入しました。もう既に6~7機持っています。しかし我々は、それらにイスラエル製のシステムを搭載しています。そのシステムは、ステルス戦闘機をさらに独創的、更に見えないようにします。ですから、ロシアのレーダーも、イランのレーダーも、実際はこの地域のほとんどが、これらの飛行について聞いたことがありません。唯一、この飛行について気づいていると思われるのは、アメリカでしょう。はっきり言えば、トランプがホワイトハウス入りして以来、アメリカは、イスラエルがイランの核計画について情報を集めるために、必要なことを行うのを認めています。オバマ政権の8年間に、我々はオバマから

「イランの方に飛行するなど、考えてもいけない。」

「絶対に攻撃するな。」

と警告されていたのです。それが、昨年的一年間に、我々の敵の領地近くで、我々が活動した回数は、過去8年間のそれを合計したものよりも多いのです。我々がそれを行うのは、ようやくその理由と方法、誰がテロと戦っているかを、理解する人が現れたからです。これが、私がトランプ大統領を賞賛することの一つです。これを理解するのに、明晰な頭脳は必要ないのです。ただ良い者がいて、悪者がいる。良い者はいつも真実を伝え、悪者はいつも堂々と嘘をつく。そして、良い者は、常にあなたの側にいますが、悪者は、自分たちの都合の良い時にしか味方にならず、彼らを助けるのを止めた途端に、彼らは背きます。彼は、すぐにそれを悟りました。彼は、イランを信頼していません。イランが非常に姑息であると、彼も知っています。彼らは、蛇ですから。イラン政権の話ですよ？言っておきますが、イラン国民は素晴らしい人たちです。私たちは、彼らを愛していますし、いつか彼らが、あの政権の縛りから自由になることを願っています。ともかく、トランプ大統領は、言葉と行動で、5月中旬に恐らくイラン核協議から撤退する、と信号を発信しています。だから現在、ヨーロッパは非常に危惧しているのです。実際、ヨーロッパ人たちは、現在のシリアで起こっている事に関し

ては、トランプ大統領の側に堅く立っているのです。金正恩も同じです。ホワイトハウスにいる人物は、いい加減なことをするような者ではないということ、ヨーロッパ人たちは理解しているのです。人がクレイジーと呼ぶ者、彼は、クレイジーですよ。彼は、他の外交官と違って、言ったことをそのまま意味し、言った通りのことを行ないますから、十分クレイジーです。何で彼が全てを言うのか、あんなに真っ直ぐなのか、彼らには理解出来ないのです。数日前、トランプが過越の祭りと復活祭の挨拶をしているのを観ました。それに私は深く感動しました。彼は、一つの事を理解している大統領です。彼は、約束の地で自由に暮らしたいという、ユダヤ人の熱望を理解しています。彼は「彼らの約束の地」と呼んだのです。さらに彼は、イエス・キリストが神の御子であるというだけでなく、イエスの復活を信じている、と彼の信仰を認めました。私はいつの日か、彼に会って、どれほど多くのイスラエル人が彼に感謝し、彼を愛しているか、伝えたいですね。もう一つお伝えたいのは、彼の欠点について考えるのは、とても簡単です。さらに言えば、彼の悪徳や悪い過去について。でも、言っておきます。私たちは皆、罪人で、恵みによって救われたのです。そして、一つ言っておきます。皆が同感でないことは私も分かっています。しかし私は、トランプ政権の中の霊的な分野での顧問を何人か知っています。彼らが大統領選の終盤、選挙の一ヶ月前に、私に言ったのです。彼のプライベートでの悪い会話の全てが、メディアにリークされた時、その時にトランプ大統領は自分の罪深さを理解して、彼にはどれほどイエスが必要であるか、気づいたのだそうです。興味深いのは、それ以来彼が、キリスト教やクリスチャン、ユダヤ・キリストの原理を、非常に一貫して支持しているのです。さらに非常に興味深いのは、彼らが持ち出すことのほとんどは、過去の事です。彼は、罪びとでした。事実、ワシントンDCの政治家で、汚点のない人が一人でもいるなら、見せてくださいよ。もう一つ言わせてもらおうと、これは、敵のトリックですよ。一旦、あなたが救われ、赦されると、サタンはいつも、あなたの罪がどれほど酷かったか、どれほど酷い人間だったか、どれほど人を赦していないか、そういったことを思い出させます。でも私は、トランプ大統領を見て、思うのです。

「この人は、救われている。神は現在、彼の事を物凄い形で用いられている」

そして、これらを見る時、私は言葉が出ません。彼は、世の人だけでなく、メディアに対しても、とても堂々と語ります。彼はメディア人をふさわしく扱い、彼は彼らに真実を伝えます。彼らは、彼が気に入らないかも知れませんが、——あなたがもし、メディアに愛されたなら、大変です。大問題です。メディア人はいつも彼らの雇い主、彼らに資金提供する者の側に立ちますから、正直ではありませんし、独立した自分の考えがないのです。彼らは、彼らの雇い主の“クラクション”です。これを覚えておいてください。

トランプ大統領は二日前、

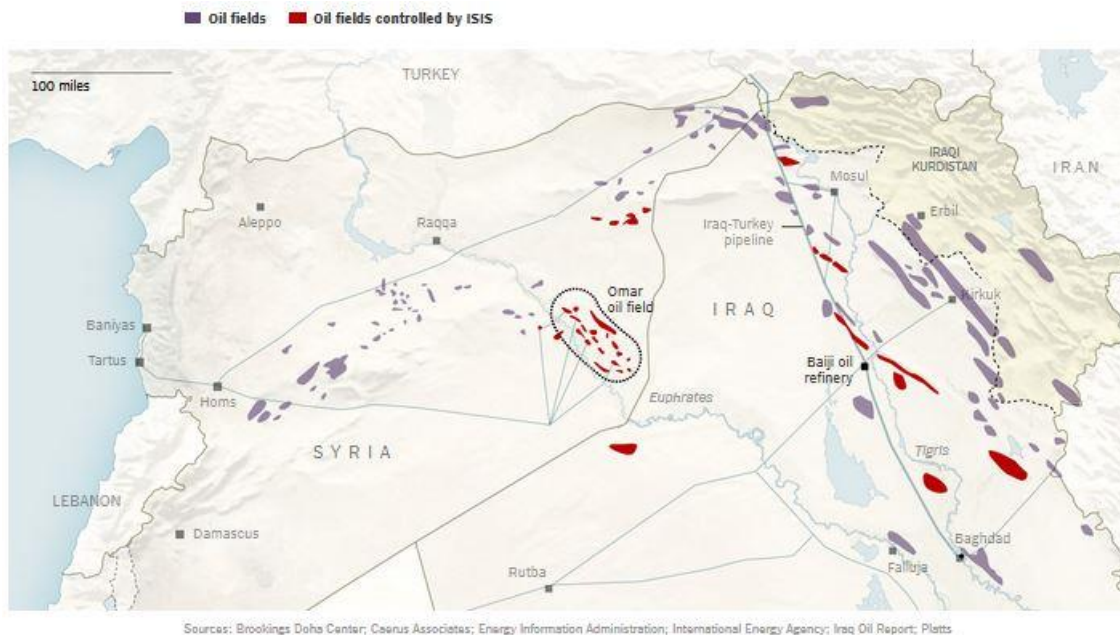
「我々は、シリアには長く留まらない。」

と述べました。そして次に、今日、サウジ皇太子が

「アメリカがシリアを出るなら、イランが占領するだろう」

と述べました。皆さんが理解しておられるかどうか分かりませんが、トランプ大統領が中東で行なったことは、並外れです。彼は一つの事を理解しているのです。シリアとロシアが求めているのは経済で、彼らが苦しんでいる、ということ、これを彼は理解しました。そして、最大の油田を、彼らが褒美として狙っていることを、彼は理解しました。アサドを止めるには、彼への資金援助を止めなければならない事を、彼は理解しました。ですから、皆さんが理解されているかどうかは分かりませんが、トランプ大統領は現在、積極的に——アメリカは積極的に、シリアでの軍事駐留の建設に関わっています。それも、かなり大規模な軍事駐留です。異なる20の

軍事基地、そこには数千人のアメリカ兵がクルド人とともに既に入っています。ロケットを防ぐ基地、ユーフラテス川東側の、シリアの油田、ガス田周辺地域、さらにオマル油田の隣に、軍事設備が建設されています。それから、アメリカは既に戦車や武装車を持ち込み、川を渡るための橋を架け、その他様々です。



オマル油田周辺地図（ISIS が支配していた時の地図なので古いですが参考までに）

理解しておいてください。これらの油田の生産量は、一日 15,000 バレル（書記注：1 バレル＝約 158.9 リットルとすると、 $15,000 \times 158.9 =$ 約 2 百 38 万 3 千 5 百リットル）です。そして、シーア派も、ISIS も、バッシュール・アサドも、ロシアも、誰もそれらに手を付けられません。これらは現在、あちらにいるアメリカ援護の軍隊のもので、つまり、2002 年の最高生産量が、一日 67 万 7 千バレル（約 1 億 757 万 5 千 3 百リットル）だった油田です。それが 38 万（6 千 38 万 2 千リットル）になって、現在は 15,000 バレルです。これらの可能性が、想像出来ますか？それだけではありません。トランプは

「シリアに流れる全資金を止める最善の方法は、ヨルダンやトルコ、イラクから、シリアに入る経路を閉ざすことだ」

と明確にしました。言うておきますが、これを行なって、彼は非常に成功しています。今は、トルコを賞賛する人は少ないと思いますが、現在トルコは北部で、シリアのシリア政権に入る道を閉ざしています。そして現在、ヨルダンが南で行なっている事、イラクが東で行なっている事で、イランから地中海へ橋を架けると言うイランの夢はなくなったのです。それに加えて、間もなく我々は核協議から撤退します。これは、イランの大惨事です。

ロシアは現在、ヨーロッパ中の外交官追放への報復として、彼らの領土から外交官を追放しています。ロシアは、これまでになかったほどに孤立しています。言うておきますが、イランもこれまでになく孤立しつつあります。トルコもまた、トルコと他の NATO、他のヨーロッパとのギャップがどんどん広がっています。皆さん、トルコは、シリアに関してはロシア、イランとそれほど結びついてはいませんが、イスラエルに関しては、イスラエルの存在を終わらせるためなら、たとえそれがロシア、イランと協力することになっても、トルコはどんな事でも手段を選びません。これはすごい事だと思います。今、私たちは、イランで、イスラエルが行動に

出る可能性を見えています。私たちは、シリアで、アメリカが行動に出る可能性を見えています。私たちは、ロシアが、周辺で起こっている事の全てに同意しない可能性を見えています。そこで私は、どちらが先に起こるだろうか、と思うのです。ロシアとアメリカの対立か？それとも、ロシアとイスラエルの対立か。これは興味深いことになるでしょう。一つ、聖書から私たちが知っているのは、ロシアとイスラエルの対立が起こったとき、アメリカはイスラエルを助けることは出来ません。これ以外は不確かな事です。聖書が告げていませんから。判断は、皆さんにお任せします。ただ、聖書が沈黙していることは、私も沈黙するべきです。

以上です。イスラエルについて、イランについて、ガザで起こっている事について、シリアで起こっている事について、それから、現在ロシアで起こっている事についてお話をしました。現在、多くの事が起こっています。

それからもう一つ、皆さんに警告したいのは、インターネット上にあまりにも多くのニュースウェブサイトが存在し過ぎています。いくつかはクリスチャンにとって、親しみやすいように見えますが、ほとんどがセンセーショナルに伝え、とんでもない情報で、欺きです。そのほとんどが、皆さんを欺きます。これは、中東に関してで、皆さんの国で起こっている事に関しては、私にはよく分かりませんし、もちろんそれは皆さん次第です。しかし、中東に関しては、非常に多くの誤情報が出回っています。ですから、つけっぱなしのテレビに聞くのではなく、常に聖書を開いて、確かめるようにしてください。結論に飛びつかないようにするのは、非常に大切な事です。そして何より、彼らは何かセンセーショナルな事を報道しておきながら、それが起こらなかった時、それに対して決して謝罪しません。彼らは、自分たちの想像話を報告しておきながら、自分たちが間違っていたとは、決して言わないのです。ですから、私は非常に警戒しています。これらは偽預言者と言って良いと思います。この手の事に関しては、どうか十分に注意してください。

ということで、皆さんご視聴くださり、ありがとうございます。先ほども言いましたが、私はトルコへは行きません。ご心配いただいた皆さん、私はローマに行くことになり、来週の金曜にローマへ発ちます。それから、アテネ、コリント、テサロニケに行って、そこで聖書の教えの新しいプロジェクト「Bible Land Unveiled/聖書の地アンヴェールド」を収録します。主が、いくつかのメッセージを与えてくださったので、ローマではローマ書から、アテネでは使徒の働き、そしてコリントとテサロニケでは、この二つの教会にパウロが書いた手紙から教えます。

ありがとうございました。God bless you! シャローム! 明日は復活祭を祝うのがとても楽しみです。ここイスラエルでも、今年の日曜日です。

ありがとうございました。God bless you!  
ガリラヤより、シャローム! さようなら。

---

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

#### 【写真出典一覧】

オマル油田周辺地図：中東・イスラーム学の風姿花伝 池内恵.com